

令和4年度 公民科「公共」シラバス

単位数	2単位	学科・学年・学級	普通科 1年 A組～H組
教科書	高等学校 公共（帝国書院）	副教材等	なし

1 学習の到達目標

<p>人間と社会の在り方についての見方・考え方を働かせ、現代の諸課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。</p>

2 学習の計画

月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価材料
4	第1部 第1章 社会の中の私たち	第1節 青年期と社会参画	<ul style="list-style-type: none"> ・社会に参画する自立した主体としてのあり方生き方について自分の意見を表現することを通じて社会形成とそれに結びつく、自らのキャリア形成について理解する。 ・伝統や文化、宗教、古来の日本人の考え方などへの理解に基づき、自らの価値観や他者の価値観、それらを形成する背景や要因について理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・主体的に学習に取り組む態度 ・課題の取組状況と内容
5		第2節 宗教・思想・伝統文化と社会	中間考査	
6	第1部 第2章 思想から学ぶべきもの	第1節 倫理的な見方・考え方	<ul style="list-style-type: none"> ・先哲の考え方の理解に基づき、行為の結果である個人や社会全体の幸福を重視する考え方や、行為の動機となる公正などの義務を重視する考え方などについて理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ノート（プリント）の提出状況と内容
7	第1部 第3章 私たちの社会の基本原則	第1節 社会の基本原則と憲法の考え方	<ul style="list-style-type: none"> ・個人と社会の関係等について自分の意見を表現することを通じて、人間の尊厳と平等、協働の利益と社会の安定等の大切さ、公共的な空間に生じる課題を探究することの大切さ等について理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・考査（小テスト等を含む）の得点
		期末考査		
9	第2部 第1章 私たちと法	第1節 法の意義と司法参加	<ul style="list-style-type: none"> ・法の基本的な考え方に関する正確な理解に基づき、身近な主題についてさまざまな考え方を踏まえて判断し、法の意義や司法参加について関心を高める。 	1学期に同じ
10	第2部 第2章 私たちと政治	第1節 民主社会と政治参加	<ul style="list-style-type: none"> ・よりよい社会を構成するための取り組みについて、自分の意見を表現することを通じて、政治参加と公正な世論の形成、地方自治等について理解する。 	
11		第2節 国際政治の動向と平和の追求	<ul style="list-style-type: none"> ・我が国の固有の領土に残る問題の平和的な解決や安全保障、国際連合における国際貢献について、自らの意見や主張を表現することを通じて、国家主権、領土、我が国の安全保障と防衛、国際社会における我が国の役割などについて理解する。 	
12	第2部 第3章 私たちと経済	第1節 市場経済のしくみ	<ul style="list-style-type: none"> ・公正かつ自由な経済活動が行われる社会を構成するための取り組みについて自分の意見を表現することを通じて、市場経済の機能と限界、金融の動き、財政及び租税の役割について理解する。 	
		期末考査		

1		第2節 豊かな社会の実現	・変化する産業構造と労働のあり方，社会保障の意義と課題に対する正確な理解に基づき，職業選択，雇用と労働問題，少子高齢社会における社会保障の役割といった諸問題について理解する。	1，2学期に同じ
2		第3節 国際経済の動向と格差の是正	・経済のグローバル化と相互依存の深まり，国際社会における貧困や格差の問題などについて理解する。	
3	第3部 持続可能な社会の実現に向けて	課題探究学習の手引き 学年末考査	・第1部，第2部の学習を振り返りながら，第1部，第2部の各領域を横断する課題を探究する。	

3 評価の観点

知識・技能	現代の諸課題を捉え考察し，選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに，諸資料から，倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けようとしている。
思考・判断・表現	現実社会の諸課題の解決に向けて，選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して，事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や，合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養おうとしている。
主体的に学習に取り組む態度	よりよい社会の実現を視野に，現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに，多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される，現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や，公共的な空間に生き国民主権を担う公民として，自国を愛し，その平和と繁栄を図ることや，各国が相互に主権を尊重し，各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深めようとしている。

4 評価の方法

<p>次の3観点を，記載の評価資料にもとづいてABCで評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・知識・技能：定期考査，小テスト 等 ・思考・判断・表現：定期考査，文章による説明，論述，レポート 等 ・主体的に学習に取り組む態度：振り返りシート，提出物，授業態度 等 <p>観点ABCの判断基準は以下の通り。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「A」・・・十分満足できる (学習達成状況100%～80%) ・「B」・・・おおむね満足できる (学習達成状況79%～30%) ・「C」・・・努力を要する (学習達成状況29%～0%)

5 担当者からのメッセージ (確かな学力をつけるためのアドバイス、授業を受けるにあたって守ってほしい事項など)

<p>内容は上記の事柄を予定していますが，世の中の状況に合わせて取り扱う順番が変更することがあります。現実の社会と結びついた事柄を学習する科目ですので，他の教科・科目の学習内容に留意し，新聞を読んだり，ニュースを聞いたり，できるだけ学習の対象に幅を持たせてください。また，「公共」の学習を通して，広い視野に立ったものの見方・考え方を養い，自分自身の生き方・在り方について考えましょう。民主的で平和的な国家・社会を形成する主役はあなた方なので，みんなが幸せになれるよう一人一人がいまその準備をしているのだと自覚してください。</p>
